

美術科 授業構想

平成26年10月10日(金) 5校時 第2美術室
2年2組(男子18名, 女子16名, 計34名)
授業者: 教諭 吉田文彦

1 題材名 コスモボックス

2 教材観

コスモボックスとは「宇宙を閉じ込めた箱」のことであり、箱の内側はアクリルミラーをスクラッチして彩色する、一種の万華鏡である。外側は、本来は木彫を民芸風に行うことができるように厚みのある木箱になっているが、内側の宇宙的なデザインに対応して、本校では木彫だけではなくアクリルガッシュにすることで、多様な表現を展開させ、表現の幅を広げたいと考えている。

3 生徒の実態

1年のころから平面作品の制作が続き、工芸的な立体作品は初めてになる。同じ材料から独自の表現を追究させるには制作の手順を理解させながら、小グループで相談をしながら、様々な表現を試行錯誤をさせながら進める必要がある。

4 本時について

(1) 本時の学習 コスモボックスの外側のデザインを考える

(2) 本時のねらい

①作例や先輩たちの様々な作品から、どのような技法が使われているのかを考える。

【鑑賞の能力】

②自分の作品に生かしたい技法をもとに作品の構想を練る。【発想の能力】

(3) 本時における「わかる生徒の姿」

既習の説明や作例から読み取ったことをもとに作品のアイデアを構想したりアイデアスケッチを描くことができる。

(4) 展開構想 ○→主な学習内容 ①, ②→評価場面

学びのステップ	学習内容	指導上の留意点	かり合いの態
導入 第1ステップ	○前時の復習 ○作例にどんな技法が用いられているか考え、学習シートに記入する。	複数の技法が用いられていることに気付かせる。 ①学習シート	4人組
学習課題 どのように技法が使われているか鑑賞し、自分たちの制作に生かそう!			
第2ステップ	○見つけ出した技法についての発表 ○見つけた技法の効果についての交流 ・他の意見から自分の考えを深める。	十分交流できるよう時間配分する。	4人組
ラストステップ	○自分の作品に生かしたい技法などを考えながら、アイデアスケッチを描く。	意見を交流し合えるようコーディネーターの役割に徹する。 ②学習シート	4人組